

科目名称(Course Title)				担当教員(Instructor)	
診療情報管理実習				星 雅文 / 佐藤 恵	
開講学期 (Semester)	単位数 (Credits)	履修年次 (Requirement)	授業形態 (Class Type)	受講定員の有無 (Maximum Enrollment)	授業公開 (Workshop Class)
前学期	2単位	3年次	演習	無	無
授業の概要(Course Description)					
<p>病院における診療情報管理士の業務を理解するために、また診療情報管理士認定試験の受験に資するため、1週間の病院実習を行い、診療情報に関する専門分野のさらに深い知識の獲得と医療の現場感覚を養う。</p> <p>6月中旬の病院実習までの準備期間として、一般常識・ビジネスマナーを習得する。また、新聞・テレビ等の報道やインターネットに掲載されている情報、文献調査を通じて、現在の医療界で発生している事象や問題について学び、病院実習に臨む。実習終了後は、報告書を作成、および実習内容についての発表会を行い、現場での経験や獲得した知識の定着を図る。</p>					
授業の到達目標(Course Objectives)					
<p>1) 実習に赴く病院の全体像について説明することができる。</p> <p>2) 病院における各種診療情報の流れについて、実習病院を例に挙げ、説明することができる。</p> <p>3) 診療情報管理部門における業務と病院におけるその役割について、説明することができる。</p>					
授業計画(Course Schedule)					
第 1 回	ガイダンス	病院実習の目的とは (これまでの実習報告の紹介)			
第 2 回	実習準備	診療情報管理士の実習とは			
第 3 回	実習準備	実習の意義、実習先を理解する、実習中の姿勢			
第 4 回	実習準備	実習先の決め方、自己紹介書、訪問マナー			
第 5 回	実習準備	実習内容の理解、実習日誌の記入方法			
第 6 回	実習準備	事前訪問、保険加入、誓約書、服装・髪型について			
第 7 回	病院実習 ※6月中旬に5日間 (主に月～金) の実習を行う				
第 8 回					
第 9 回					
第 10 回					
第 11 回					
第 12 回	実習の振り返り	実習において学んだこと、問題と感じたことの報告			
第 13 回	実習報告書作成	実習報告書の作成と、PowerPointスライドの作成			
第 14 回	実習報告発表会	※1回生・2回生も参加し質疑・応答を行う			
第 15 回	お礼状の作成	実習病院に対するお礼状の作成			
授業時間外学習(Supplementary Activities)					
<p>指定テキストは必ず購入すること。また、ノート・筆記用具を持参しなければ欠席扱いとする。実習の場所・日程は、指導教員の支援を受けて、各学生が実習先と調整する。各病院の実習内容に関して予習し、実習終了後は、自ら報告書とPowerPointによる発表スライドを作成する。自主的な作業が中心となるが、時間を見つけ、十分な準備を行うこと。</p>					

成績評価の方法と基準(Grading)	
評価方法 (割合)	評価基準
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院側実習担当者の評価 (60%) ・ 病院実習報告書/発表の評価 (20%) ・ 講義中の質疑への対応、講義への参加姿勢 (10%) 	<p>秀 : 病院の実習担当者の評価が最も高い、かつ実習病院での診療情報管理業務について、<u>わかりやすく説明</u>ができ、かつ、<u>問題点を的確に指摘</u>できている。</p> <p>優 : 病院の実習担当者の評価が高い、かつ実習病院での診療情報管理業務について、<u>わかりやすく説明</u>することができている。</p> <p>良 : 病院の実習担当者の評価が比較的高い、かつ実習病院での診療情報管理業務について、わかりやすい報告書・発表資料の作成ができている。</p> <p>可 : 病院の実習担当者の評価が普通、かつ実習病院での診療情報管理業務について、報告書作成、発表資料作成など最低限の水準を満たしている。</p>
<p>テキスト (Textbook)</p>	<p>【書名】 診療情報管理実習生のためのガイドブック 【著者】 日本病院会</p> <p>【出版社】 社会保険研究所 【出版年】 2014年</p>
<p>参考書・資料等 (Supplementary Reading)</p>	<p>・ 適宜配布する</p>
<p>備考 (Other Information)</p>	<p>当科目は診療情報管理士認定試験の受験資格取得において必須科目である。そのため、実習においては1日たりとも休むことが許されない。各自、体調管理に努め、生活習慣を見直すこと。また、実習前後の取り組みも重要であるから欠席は許されない。</p>
<p>教員との連絡方法 (Contact With Instructor)</p>	<p>講義や会議、あるいは出張などにより研究室に不在であることが多いため、火急の際には下記の連絡手段を用いてアポを取ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Email : hoshi-masatake@fukuchiyama.ac.jp ・ 携帯電話 : 090-1616-8855 (ショートメッセージ可)